

# さくら市の財政状況

令和4年5月

さくら市

# はじめに

この「財政状況の公表」は、市民の皆様に市財政の現況をお知らせすることにより、市の財政と主要施策についてご理解をいただき、市政の発展についてご助言とご協力を得るため毎年5月と11月に公表するものです。

今回は、令和4年度の当初予算の概要と、令和3年度下半期の財政運営の状況を中心に御報告いたします。

令和4年5月

さくら市長 花塚隆志

## 令和4年度さくら市当初予算の概要について

本市の財政状況は、今般のコロナ禍の影響で市税が2年連続で減少する見込みであること、合併特例債を活用した大型事業の公債費がピークを迎えていることなど、まさに厳寒の如き状況です。令和2年度の経常収支比率は93.9%と前年度から2.5%悪化しており、財政の硬直化が進んでいます。

これまでにない厳しい市政経営となりますが、極力、市民サービスを低下させることのないよう、本市が目指す将来像、さくら市での「暮らしが楽しめる健康・里山・桜の小都市」の実現に向けて、質実主義のもとあらゆる手法を駆使し、「新たな気概」を以て推進していきます。

予算編成にあたっては、予算編成方針とともに、政策経営の基本的な考え方及び令和4年度に取り組む重点事項等を掲げた「令和4年度政策経営基本方針」を定めました。この方針を基軸として予算編成を行いましたので、令和4年度に取り組む主な事業とともに、その概要について説明します。

はじめに、「新型コロナウイルス感染症対策」です。

地元医師団や医療機関の多大なる協力の下、第3回目のワクチン接種を推進していきます。実効再生産数がこれまでの数倍と感染力が強大なオミクロン株の感染対策として、強固かつ綿密な感染予防対策を徹底し、蔓延防止対策を図りながら「市民の健康」、「仕事と暮らし」、「子ども達の学び」を守ります。国、県、関係機関等と密に連携しながら、本市独自の対策・支援を即時に実行するなどあらゆる施策を行っていきます。

次に二つ目の「ポストコロナを見据えた強固な経済基盤づくり」への対応です。

新型株はその感染者数の莫大さから、病床逼迫度合に比して経済的阻害が甚大であり、飲食業をはじめ、中小・小規模事業者、生活困窮者等への生活に多大な影響をもたらしています。従って経済的支援については迅速性を以て柔軟に実行すると共に、中小企業の規模拡大等を重点的に支援し、活力ある中堅・中小企業等の創出を促します。また、企業誘致を引き続き促進します。

農産物の売上向上については引き続き重要政策として取り組みます。まず新型コロナウイルスの影響を受けて苦渋する米生産農家対策として、生活困窮世帯約4,700世

帯へ米 10 kgを配布する米消費拡大事業 24,991 千円を予算化・早期に実行し、園芸作物の作付面積拡大や担い手による効率的な営農を支援する他、魅力的でモデル的な農家の育成に取り組んでいきます。

今後共、地元産品の振興に一層の注力を新たに図り、市内経済の活性化に注力していきます。

三つ目、「自然災害への備え」です。

気候変動により気象災害が激化・頻発化しており、防災力の強化は喫緊の課題です。

強くしなやかな市民生活の実現には、さくら市国土強靱化地域計画に基づく、国、県と連携したハード事業と、「防災・避難対策等検証会議」の結果や「さくら市地域防災計画」を基にしたソフト事業の両輪が必要です。災害時に弱者となってしまう高齢者や障害者などを考慮した、多様な視点を踏まえながら、ハード・ソフト一体となった取組みを推進します。

自主防災組織の設立推進を引き続き図りながら、新年度以降はまず地区防災計画の全地区策定の取組を開始し、防災教育を推進して市民一人一人の防災意識を高め、災害時に一人の市民も逃げ遅れることのない防災減災対策を積極推進します。

四つ目、「ふるさと納税の増収達成」です。

財源の確保とワイズ・スペンディング（「賢い支出」の意）、事業の選択と集中に取り組んでいきます。特に、個人からのふるさと納税、そして企業版ふるさと納税の大幅増収に向けて全国的に大変大きな実績を上げている市町の取組みを参考としながら、あらゆる方策を講じて意欲的に取り組んでいきます。

五つ目、「スマートな小都市の実現に向けた取組み」です。

国においてもデジタル・ガバメント実行計画によりデジタル庁が発足し、行政のデジタル化や民間部門のDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進が緒に就き、さらに新政府はデジタル田園都市国家構想によりデジタル技術の地方における実装を推進することを表意しました。

本市においては進取主義にもとづいて市役所におけるデジタル・シフトはもとより、市民生活を変革するあらゆる分野での改革に取り組めます。子育て情報や市の企画する様々な取組みを一元的に集約するプラットフォームの確立やキャッシ

ユレス決済、スマート農業推進などの様々な取組みを開始します。目指す方向にある、移動手段を便利に使いこなす『Maas (Mobility as a service)』や、健康情報・PHR(パーソナル・ヘルス・レコード)の活用も視野に入れ、リモートワークやワーケーションの推進に資します。

基盤となる社会資本の整備については、引き続き地方創生道整備交付金による農道等、総合的な道路ネットワーク整備や通学路の安全確保のための整備など積極的に推進していきます。

六つ目、「ふるさとの魅力・ブランド力の向上」です。

氏家駅周辺の魅力向上では、都市計画道路とともに新たな空間を創出する構想について意見交換会をスタートしました。

また、お丸山周辺の整備構想実現に、市民や関係団体、有識者等、多種多様な立場の方で構成する「お丸山会議」を開設し、商工観光振興や歴史顕彰、環境向上等を議論・検討し実行していきます。

そのほか、「桜と花と緑に彩られたまちづくり」として、勝山の桜見本園・桜並木・荒川沿岸などの桜植樹に向けた取組みに加えて、桜や花、緑で街を彩る市民活動等の支援をバージョンアップで直接支援するなど強化・推進することで自然豊かな住環境を目指します。

七つ目、「さくら市の子どものために」です。

さくら市は県内一子どもの割合が多い市です。ICT教育の推進としてGIGAスクール構想と連動したハード・ソフト・人材の強化促進に努めます。大きな投資となりますが、子ども達への安心、安全な給食の提供や地元食材の活用促進のために給食センターの整備を進めていきます。

また、スポーツ施設の整備を次々に行っていきます。本年は画期的な「壁打ち施設」の完成に加え、10月にはいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会が開催予定であり、本市においてもサッカーやインディアカ、スポーツウエルネス吹矢が行われスポーツへの関心が高まる年となります。引き続き、様々なスポーツの活性化を図るとともに、全ての年代の方々の健康に資する施設整備に取り組んでいきます。

また、「待機児童ゼロ」を継続する取組みを進めながら、保育園の民営化による効率化や子育て世代包括支援センターと連携した子育て情報プラットフォーム

ムの確立など、子育て支援の強化や利便性向上に向けて様々取り組んでいきます。

八つ目、「セーフティネットの強化」です。

新型コロナウイルスの影響により、全国的に生活保護申請件数が増加しています。本市においても生活困窮者自立支援について社会福祉協議会等の協力のもと柔軟かつ迅速に支援を行います。

市民一人一人が住み慣れた地域で支え合いながら暮らせる地域共生社会づくりを進め、地域包括ケアシステムの構築や必要な支援につなげられる相談窓口の充実に取り組み、高齢化社会の加速化に対応するため民間事業者による高齢者施設等の充実を積極的に推進します。

九つ目、「グリーン社会の実現」です。

国や県のカーボンニュートラルへの取組みと軌を一にして、バイオマス産業都市構想、グリーンイノベーションの実現など、地球温暖化防止や生物多様性保全に努めていきます。

令和4年度一般会計予算額は当初予算としては過去最大となる195億5千万円で、対前年度比4.1%、7億7千万円の増です。増額の主な要因は、中小企業振興資金融資事業費や介護給付・訓練等給付事業費が増加したことによるものです。

歳入につきましては、根幹となる市税において、コロナ禍の影響で大規模家屋及び設備投資の減による固定資産税の減少を見込み、62億6,655万4千円を計上しました。

地方交付税につきましては、過去の交付実績や地方財政計画に基づき、26億3,050万円を見込んでいます。

繰入金につきましては、財政調整基金繰入金7億593万6千円、減債基金繰入金3億円など、10億5,793万8千円を計上して、財源の不足に対応することとしました。

市債につきましては、臨時財政対策債を7億5千万円、市道整備事業債3億7,030万円、農道整備事業債4,130万円など、13億5,640万円を計上しました。

歳出につきましては、議会費では、議会の運営及び活動に関する経費として、対前年度比0.1%、20万9千円減の1億7,209万円を計上しました。

総務費では、財産管理費、企画費、情報処理費、市税の賦課徴収費など、対前年度比4.6%、9,226万7千円増の21億1,629万4千円を計上しました。

民生費では、介護給付・訓練等給付事業費、後期高齢者医療費、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計への繰出金、施設型給付・地域型給付等事業費、児童手当支給事業費、生活保護者扶助事業費など対前年度比3.3%、2億1,442万9千円増の66億5,753万8千円を計上しました。

衛生費では、定期予防接種事業費、各種がん検診事業費、新型コロナウイルスワクチン接種事業費、清掃費各種負担金、ごみ収集事業費などで、対前年度比12.3%、1億7,989万1千円減の12億7,894万6千円を計上しました。

農林水産業費では、農道等整備補修事業費、多面的機能支払交付金事業費、総合交流ターミナル施設維持管理事業費などで、対前年度比13.5%、7,393万2千円増の6億2,341万円を計上しました。

商工費では、中小企業振興資金融資事業費、新型コロナウイルス感染症対策特別資金利子補給金事業費、温泉施設維持管理事業費などで、対前年度比44.2%、5億8,436万7千円増の19億634万7千円を計上しました。

土木費では、道路維持補修事業費、道路改良事業費、都市公園管理事業、お丸山公園等再生計画事業費、下水道事業会計負担金、上阿久津台地土地区画整理事業特別会計への繰出金などで、対前年度比7.2%、1億3,791万4千円増の20億6,116万3千円を計上しました。

消防費では、消防団運営事業費、防災行政無線管理事業費、塩谷広域行政組合消防費負担金などで、対前年度比 0.9%、672 万円増の 7 億 9,314 万 8 千円を計上しました。

教育費では、幼稚園事業費、非常勤講師活用事業費、学校 ICT 管理事業費、学校給食管理事業費などで、対前年度比 5.4%、1 億 2,227 万 9 千円減の、21 億 5,706 万 4 千円を計上しました。

災害復旧費では、300 万円を計上し、公債費では、対前年度比 2.1%、3,710 万円減の、17 億 6,100 万円を計上、予備費では 2,000 万円をそれぞれ計上しました。

続いて特別会計・企業会計予算につきましては、上阿久津台地土地区画整理事業特別会計では、測量調査設計業務費、舗装新設工事費、移転補償など対前年度比、5.5%、1,673 万 1 千円減の 2 億 8,784 万円を計上しました。

国民健康保険特別会計では、療養給付費、高額療養費など対前年度比、1.0%、4,049 万 3 千円減の 40 億 4,787 万円を計上しました。

後期高齢者医療特別会計では、後期高齢者医療広域連合納付金など対前年度比、11.7%、5,375 万 7 千円増の 5 億 1,336 万 8 千円を計上しました。

介護保険特別会計では、居宅介護、地域密着型介護、施設介護、介護予防サービス給付費など、対前年度比 4.1%、1 億 3,798 万 8 千円増の 35 億 1,686 万 7 千円を計上しました。

企業会計では、水道事業で、上水道改良事業工事費、配水設備の維持管理に係る経費、企業債償還費などを計上し、支出合計で、対前年度比 10.4%、1 億 8,309 万 3 千円減の 15 億 8,306 万円を計上しました。

下水道事業では、処理場の維持管理に係る経費、管路建設改良費、企業債償還費などを計上し、支出合計で、対前年度比 2.2%、4,034 万 7 千円増の 19 億 612 万円を計上しました。

以上が令和 4 年度の当初予算の概要です。

## I 令和3年度下半期の財政の推移

令和3年度上半期における予算の推移につきましては、前回の公表(令和3年11月)でお知らせしましたので、今回は、その後の下半期(令和3年10月1日から令和4年3月31日まで)における予算の状況をお知らせします。

### 1 一般会計予算

下半期においては、総額32億2,364万7千円の増額補正を行いましたので、令和3年度最終予算額は228億2,646万8千円となりました。これを当初予算額と比較すると21.5%の増となります。

(1)補正に伴う予算の推移は第1表のとおりです。

第1表 令和3年度一般会計予算の推移(下半期分)

【歳入】 (単位:千円, %)

款名	R3.10.1 現在予算額	R3.10.15臨時議会 による補正 (第6号)	12月議会 による補正 (第7号)	12月議会 による追加補正 (第8号)	12月議会 による追加補正 (第9号)	R4.1.18臨時議会 による補正 (第10号)	3月議会 による補正 (第11号)	3月議会 による追加補正 (第12号)	R4.3.31 専決処分 (第13号)	最終予算額	構成比
1 市税	6,312,015									6,312,015	27.7
2 地方譲与税	198,000								15,788	213,788	0.9
3 利子割交付金	4,000								△ 698	3,302	0.0
4 配当割交付金	20,000								14,017	34,017	0.2
5 株式等譲渡所得割交付金	10,000								29,353	39,353	0.2
6 法人事業税交付金	30,000								44,890	74,890	0.3
7 地方消費税交付金	900,000								160,466	1,060,466	4.6
8 ゴルフ場利用税交付金	80,000								5,302	85,302	0.4
9 環境性能割交付金	10,000								11,869	21,869	0.1
10 地方特例交付金	61,000		827						99,825	161,652	0.7
11 地方交付税	2,331,000		434,341				354,837		39,631	3,159,809	13.8
12 交通安全対策特別交付金	5,429								△ 102	5,327	0.0
13 分担金及び負担金	118,164									118,164	0.5
14 使用料及び手数料	222,868									222,868	1.0
15 国庫支出金	3,138,017	50,943	201,804	376,932	375,536	715,970	146,777			5,005,979	21.9
16 県支出金	1,349,989	10,306	11,697				△ 30,319		△ 1,497	1,340,176	5.9
17 財産収入	139,031		89,739				△ 93,000		23,320	159,090	0.7
18 寄附金	40,007		40,000						2,207	82,214	0.4
19 繰入金	983,379	△ 2,435	△ 400,878				△ 515,896			64,170	0.3
20 繰越金	462,836					31,399	672,703			1,166,938	5.1
21 諸収入	1,675,386	9,000	50,488				△ 427		16,887	1,751,334	7.7
22 市債	1,511,700	17,200	49,545				177,700		△ 12,400	1,743,745	7.6
合計	19,602,821	85,014	477,563	376,932	375,536	747,369	712,375	0	448,858	22,826,468	100.0

【歳出】 (単位:千円, %)

款名	R3.10.1 現在予算額	R3.10.15臨時議会 による補正 (第6号)	12月議会 による補正 (第7号)	12月議会 による追加補正 (第8号)	12月議会 による追加補正 (第9号)	R4.1.18臨時議会 による補正 (第10号)	3月議会 による補正 (第11号)	3月議会 による追加補正 (第12号)	R4.3.31 専決処分 (第13号)	最終予算額	構成比
1 議会費	172,299		△ 347				△ 3,631			168,321	0.8
2 総務費	2,048,464		68,452	1,156		643,000	411,196		394,634	3,566,902	15.6
3 民生費	6,539,846	3,000	191,781	375,776	375,536	60,039	△ 23,485			7,522,493	33.0
4 衛生費	1,477,048	10,306	119,545			33,770				1,640,669	7.2
5 労働費	150									150	0.0
6 農林水産業費	550,278	6,000	20,009			10,560	△ 8,706		20,478	598,619	2.6
7 商工費	2,022,480	22,000	15,661				△ 48,000			2,012,141	8.8
8 土木費	1,923,249	42,500	7,488				△ 19,876			1,953,361	8.6
9 消防費	791,120						△ 10,187			780,933	3.4
10 教育費	2,256,787	1,208	54,974				433,064		33,746	2,779,779	12.2
11 災害復旧費	3,000									3,000	0.0
12 公債費	1,798,100						△ 18,000			1,780,100	7.8
13 予備費	20,000									20,000	0.1
合計	19,602,821	85,014	477,563	376,932	375,536	747,369	712,375	0	448,858	22,826,468	100.0

(2)歳入歳出補正予算の概要は、次のとおりです。

令和3年10月15日臨時議会における補正予算(補正予算第6号)では、歳入で、国庫支出金、県支出金、繰入金、諸収入、市債を、歳出で、民生費、衛生費、農林水産業費、商工費、土木費、教育費を補正しました。  
また、地方債の補正を合わせて行いました。

12月議会における補正予算(補正予算第7号)では、歳入で、地方特例交付金、地方交付税、国庫支出金、県支出金、財産収入、寄附金、繰入金、諸収入、市債を、歳出で、議会費、総務費、民生費、衛生費、農林水産業費、商工費、土木費、教育費を補正しました。  
また、繰越明許費、債務負担行為、地方債の補正を合わせて行いました。

12月議会における追加補正予算(補正予算第8号)では、歳入で、国庫支出金を、歳出で、総務費、民生費を補正しました。

12月議会における追加補正予算(補正予算第9号)では、歳入で、国庫支出金を、歳出で、民生費を補正しました。

令和4年1月18日臨時議会における補正予算(補正予算第10号)では、歳入で、国庫支出金、繰越金を、歳出で、総務費、民生費、衛生費、農林水産業費を補正しました。  
また、繰越明許費の補正を合わせて行いました。

3月議会における補正予算(補正予算第11号)では、歳入で、地方交付税、国庫支出金、県支出金、財産収入、繰入金、繰越金、諸収入、市債を、歳出で、議会費、総務費、民生費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、教育費、公債費を補正しました。  
また、繰越明許費、地方債の補正を合わせて行いました。

3月議会における追加補正予算(補正予算第12号)では、歳出で、商工費を補正しました。  
また、繰越明許費の補正を合わせて行いました。

令和4年3月31日、市長の専決処分による補正(補正予算第13号)では、年度末に歳入歳出が確定したことにより、歳入で地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金、県支出金、財産収入、寄附金、諸収入、市債を、歳出で、総務費、農林水産業費、教育費をそれぞれ補正しました。  
また、地方債の補正を合わせて行いました。

## 2 特別会計予算

下半期においては、上阿久津台地土地区画整理事業特別会計のほか、3つの特別会計に係る補正を行いません。

その状況は、第2表のとおりです。

第2表 令和3年度特別会計予算の推移(下半期)

(単位:千円)

会 計 名	R3.10.1 現在予算額	R3.10.15臨時議会 による補正	12月議会 による補正	12月議会 による追加補正	12月議会 による追加補正	R4.1.18臨時議会 による補正	3月議会 による補正	3月議会 による追加補正	R4.3.31 専決処分	最終予算額	備考
1 上阿久津区画整理事業	304,571		1,887				△ 16,370			290,088	
2 国民健康保険	4,088,363						197,726			4,286,089	
3 後期高齢者医療	459,611		5,889							465,500	
4 介護保険	3,403,590		53,641							3,457,231	
合計	8,256,135	0	61,417	0	0	0	181,356	0	0	8,498,908	

## Ⅱ 令和3年度予算の執行状況

### 1 一般会計予算

令和4年3月31日現在における予算の執行状況は、第3表のとおりです。

ただし、地方公共団体の会計には、会計年度(4月1日～3月31日)経過後、前会計年度末までに確定した債権債務について現金の未収未払の整理を行うことができる出納整理期間(4月1日～5月31日)がありますので、この表が最終確定ではありません。

第3表 令和3年度一般会計歳入歳出現計表(令和4年3月31日現在)

【歳入】 (単位:円, %)

科 目	予算現額	調 定 額	収入済額	収入率	
				予算対	調定対
1 市税	6,312,015,000	6,909,369,662	6,796,732,893	107.7	98.4
2 地方譲与税	213,788,000	213,788,000	213,788,000	100.0	100.0
3 利子割交付金	3,302,000	3,302,000	3,302,000	100.0	100.0
4 配当割交付金	34,017,000	34,017,000	34,017,000	100.0	100.0
5 株式等譲渡所得割交付金	39,353,000	39,353,000	39,353,000	100.0	100.0
6 法人事業税交付金	74,890,000	74,890,000	74,890,000	100.0	100.0
7 地方消費税交付金	1,060,466,000	1,060,466,000	1,060,466,000	100.0	100.0
8 ゴルフ場利用税交付金	85,302,000	85,302,195	85,302,195	100.0	100.0
9 環境性能割交付金	21,869,000	21,869,000	21,869,000	100.0	100.0
10 地方特例交付金	161,652,000	161,652,000	161,652,000	100.0	100.0
11 地方交付税	3,159,809,000	3,159,809,000	3,159,809,000	100.0	100.0
12 交通安全対策特別交付金	5,327,000	5,327,000	5,327,000	100.0	100.0
13 分担金及び負担金	119,065,000	111,868,042	102,843,201	86.4	91.9
14 使用料及び手数料	222,868,000	223,394,476	196,960,833	88.4	88.2
15 国庫支出金	5,388,631,000	4,663,747,805	4,510,971,805	83.7	96.7
16 県支出金	1,476,192,000	1,383,992,456	1,198,022,575	81.2	86.6
17 財産収入	159,090,000	165,542,809	163,007,373	102.5	98.5
18 寄附金	82,214,000	124,299,866	124,299,866	151.2	100.0
19 繰入金	64,170,000	62,690,003	62,170,003	96.9	99.2
20 繰越金	1,412,263,000	1,412,263,280	1,412,263,280	100.0	100.0
21 諸収入	1,751,334,000	1,765,110,275	1,658,433,470	94.7	94.0
22 市債	2,138,345,000	1,138,345,000	1,017,645,000	47.6	89.4
合計	23,985,962,000	22,764,398,869	22,047,125,494	91.9	96.8

【歳出】 (単位:円, %)

科 目	予算現額	執行済額	予算残額	支出率
1 議会費	168,321,000	162,521,017	5,799,983	96.6
2 総務費	3,577,622,750	1,964,540,223	1,613,082,527	54.9
3 民生費	7,705,765,334	6,964,959,089	740,806,245	90.4
4 衛生費	1,655,449,926	1,236,211,495	419,238,431	74.7
5 労働費	150,000	100,000	50,000	66.7
6 農林水産業費	652,340,636	544,274,320	108,066,316	83.4
7 商工費	2,135,551,000	1,961,671,902	173,879,098	91.9
8 土木費	2,141,340,000	1,597,749,148	543,590,852	74.6
9 消防費	781,318,000	691,832,541	89,485,459	88.5
10 教育費	3,318,426,000	2,300,525,386	1,017,900,614	69.3
11 災害復旧費	63,000,000	12,356,300	50,643,700	19.6
12 公債費	1,780,100,000	1,776,640,902	3,459,098	99.8
13 予備費	6,577,354	0	6,577,354	0.0
合計	23,985,962,000	19,213,382,323	4,772,579,677	80.1

#### (1)歳入予算

現計予算額は239億8,596万2千円で、所定の手続きを経て調定(収入の意思決定)したものは、227億6,439万8,869円です。このうち、収入済額は、220億4,712万5,494円となっています。

予算に対する収入率は91.9%となっています。また、調定額に対する収入率は96.8%となっています。

(2)歳出予算

現計予算額239億8,596万2千円に対し執行済額は、192億1,338万2,323円で執行率は80.1%となっています。

2 特別会計予算

各会計の事業の進捗状況をみますと、おおむね予定どおりの実績をあげています。

第4表 令和3年度特別会計歳入歳出現計表(令和4年3月31日現在)

【歳入】 (単位:円, %)

科 目	予算現額	調 定 額	収入済額	収入率	
				予算対	調定対
1 上阿久津区画整理事業	333,668,000	389,265,186	304,727,186	91.3	78.3
2 国民健康保険	4,286,089,000	4,328,096,121	3,984,079,585	93.0	92.1
3 後期高齢者医療	465,500,000	467,933,434	459,602,436	98.7	98.2
4 介護保険	3,457,231,000	3,485,042,072	3,430,608,127	99.2	98.4
合計	8,542,488,000	8,670,336,813	8,179,017,334	95.7	94.3

【歳出】 (単位:円, %)

科 目	予算現額	執行済額	予算残額	執行率
1 上阿久津区画整理事業	333,668,000	304,327,560	29,340,440	91.2
2 国民健康保険	4,286,089,000	3,839,009,100	447,079,900	89.6
3 後期高齢者医療	465,500,000	446,902,075	18,597,925	96.0
4 介護保険	3,457,231,000	3,027,861,174	429,369,826	87.6
合計	8,542,488,000	7,618,099,909	924,388,091	89.2

Ⅲ 市民負担の状況

市が仕事を進めていくうえで必要な経費は、市民の皆さんに直接あるいは間接に負担していただいています。ここでは、直接に広く負担していただいている市税及び国民健康保険税の負担額について、下半期の結果をお知らせします。

令和3年度下半期における市税収入の負担額は第5表のとおりです。

第5表 令和3年度下半期市税収入市民負担額 (単位:円)

区 分	予 算 額	調 定 額	収入済額	収入額に対する市民負担額	
				1人当り	1世帯当り
1 市民税	2,093,999,000	2,331,711,900	2,300,742,133	52,461	128,304
2 固定資産税	3,292,315,000	3,331,208,100	3,309,164,460	75,455	184,540
合計	5,386,314,000	5,662,920,000	5,609,906,593	127,917	312,843

(注)市民税のうち法人分、固定資産税のうち国有資産等市町村交付金を除く  
令和4年4月1日現在住基人口43,856人、世帯数17,932世帯

国民健康保険税収入の負担額は第6表のとおりです。

第6表 令和3年度下半期国民健康保険税収入市民負担額 (単位:円)

科 目	予 算 額	調 定 額	収入済額	収入額に対する市民負担額	
				1人当り	1世帯当り
1 国民健康保険税	847,678,000	997,395,931	874,480,941	99,125	160,485

#### IV 公営企業の経理の状況

さくら市水道事業の経理の状況は第7表及び第8表のとおりです。

第7表 収益的収入支出現計表(令和4年3月31日現在)

【収入】 (単位:円, %)			
科 目	予 算 額	収入済額	収入率
1事業収益	878,530,000	878,125,980	100.0
1営業収益	779,156,000	792,676,650	101.7
2営業外収益	99,371,000	85,443,030	86.0
3特別利益	3,000	6,300	210.0

  

【支出】 (単位:円, %)			
科 目	予 算 額	支出済額	支出率
1事業費用	832,205,000	767,363,911	92.2
1営業費用	734,946,000	689,557,011	93.8
2営業外費用	96,165,000	77,716,900	80.8
3特別損失	94,000	90,000	95.7
4予備費	1,000,000	0	0.0

第8表 資本的収入支出現計表(令和4年3月31日現在)

【収入】 (単位:円, %)			
科 目	予 算 額	収入済額	収入率
1資本的収入	423,030,000	418,237,900	98.9
1企業債	250,000,000	250,000,000	100.0
2他会計出資金	100,000,000	100,000,000	100.0
3他会計負担金	15,580,000	15,532,000	99.7
4国庫補助金	26,650,000	26,650,000	100.0
5工事負担金	30,800,000	25,935,900	84.2
6他会計補助金	0	120,000	-

  

【支出】 (単位:円, %)			
科 目	予 算 額	支出済額	支出率
1資本的支出	933,948,000	803,651,576	86.0
1建設改良費	666,920,000	536,625,616	80.5
2企業債償還金	267,028,000	267,025,960	100.0

さくら市下水道事業の経理の状況は第9表及び第10表のとおりです。

第9表 収益的収入支出現計表(令和4年3月31日現在)

【収入】 (単位:円, %)			
科 目	予 算 額	収入済額	収入率
1事業収益	1,078,172,000	1,085,900,576	100.7
1営業収益	308,163,000	321,264,640	104.3
2営業外収益	770,008,000	764,480,025	99.3
3特別利益	1,000	155,911	15591.1

  

【支出】 (単位:円, %)			
科 目	予 算 額	支出済額	支出率
1事業費用	922,026,000	842,770,227	91.4
1営業費用	823,006,000	754,394,881	91.7
2営業外費用	97,500,000	88,361,806	90.6
3特別損失	220,000	13,540	6.2
4予備費	1,300,000	0	0.0

第10表 資本的収入支出現計表(令和4年3月31日現在)

【収入】 (単位:円, %)			
科 目	予 算 額	収入済額	収入率
1資本的収入	479,378,000	481,534,804	100.4
1企業債	248,400,000	236,900,000	95.4
2負担金等	14,069,000	20,347,100	144.6
3出資金	0	0	-
4補助金	216,909,000	224,287,704	103.4

  

【支出】 (単位:円, %)			
科 目	予 算 額	支出済額	支出率
1資本的支出	976,627,000	925,789,444	94.8
1建設改良費	575,527,000	525,214,655	91.3
2企業債償還金	401,100,000	400,574,789	99.9

## V 市有財産及び市債のあらまし

### 1 市有財産

市は、行政事務を執行するため、庁舎、学校、社会福祉施設等の土地、建物のほか、基金、有価証券等いろいろな財産を保有しています。これらの財産は、それぞれの目的に応じて適正に管理するとともに効率的に運用するよう努めています。

市有財産の状況は、第11表のとおりです。

第11表 市有財産(令和4年3月31日現在)

区 分	数 量	摘 要
土地	8,547,317( m <sup>2</sup> )	
・ 庁舎	6,247( m <sup>2</sup> )	
・ 学校	65,794( m <sup>2</sup> )	
建物	21,751( m <sup>2</sup> )	
・ その他の施設	64,933( m <sup>2</sup> )	
有 価 証 券	3,003,283(千円)	
出資による権利	160,436(千円)	
債 権	22,770(千円)	
基金	14,996(千円)	
・ 現 金	14,996(千円)	
・ 土 地	90,873( m <sup>2</sup> )	

### 2 市債

市債は、市民の福祉向上に役立つ公営住宅、社会福祉施設、学校等の建設事業で、一時的に多額の経費を必要とし、しかもその事業効果の恩恵を私たちの後の世代の人たちも享受できるような事業をおこなう場合に、世代間の負担の均てん化を図る見地から、その資金を国、その他から借入調達するものです。

ただし、このような市の借入金は、将来に債務を残すことであり、過大に依存することは後年度の財政運営に支障をきたすこととなりますので、起債事業の選定や各年度毎の発行額の決定等に十分配慮しています。

令和3年度末における市債の現在高見込額は、259億4,561万4千円で、その借入用途を目的別にみますと第12表のとおりです。

第12表 市債目的別現在高見込額(令和4年3月31日現在 単位:千円)

区 分	金 額
1 一般会計	13,664,231
1総務	6,117,264
2民生	321,562
3衛生	325,596
4農林水産業	539,004
5商工	90,410
6土木	2,575,522
7消防	567,783
8教育	3,038,097
9災害復旧	88,993
2 特別会計	1,454,774
1土地区画整理事業	1,454,774
3 企業会計	10,826,609
1水道事業	5,297,605
2下水道事業	5,529,004
合 計	25,945,614

※端数処理により合計が合わない場合があります。